

松前記念館リニューアル企画展連携 2022年度 アンデス・コレクション研究懇談会 「国内のアンデス・コレクションとその活用例」

東海大学文明研究所では、アンデス文明に由来するコレクションを1900点以上所蔵し、これまで資料整理や研究を進めてきました。マイクロ・ナノ研究開発センターにおけるX線CTによる真贋研究をはじめ、現在では研究協力者とともに「笛吹きボトル」研究などを実施しています。また、その成果を東海大学松前記念館にて「古代アンデスの音とカタチ」と題し、記念館リニューアル企画展を開催しています（2023年4月末まで）。今回の研究懇談会では、アンデス・コレクションを所蔵する国内機関による利活用の現状報告を通じて、学問領域を超えたコレクション研究や所蔵機関の学術交流を図ることを課題としています。

〈コンゴウインコ象形鑿型壺、ピクス文化、
資料番号 11571-389〉

〈眠る男性象形笛・把手付単注口壺、ピクス文化、
資料番号 11571-387〉

日時：3月16日（木）13:00～15:30

場所：オンライン（Zoom）&東海大学湘南キャンパス松前記念館

新型コロナウイルス感染防止対策のため学外の方ならびに学生の参加は事前申込によるオンライン参加（Zoom）となります。視聴希望の方は3月15日（水）正午までに下記リンクからお申し込みください。ZoomのアクセスIDとパスワードはフォーム登録後にも表示されますので、コピーし保存をお願いします。

<https://docs.google.com/forms/d/1va6TjwXqhGAT1N0nvYcaQBLu65PIYpCrNFSUecLBHSI>

主催：東海大学松前記念館、マイクロ・ナノ研究開発センター、文明研究所

発表（司会：吉田 晃章）

吉田 晃章（東海大学）ほか 「笛吹きボトル制作ワークショップの展開—追体験から探る音色の認知—」

細矢 芳（アーティゾン美術館） 「アーティゾン美術館所蔵ペルーの土器について」

南 博史（京都外国語大学） 「いけばな小原流 小原豊雲古代アンデスのコレクションについて」

鶴見 英成（放送大学）・金崎 由布子（東京大学）

「東京大学総合研究博物館所蔵アンデス・コレクションの研究—笛吹きボトルを中心に—」

荒田 恵（天理大学） 「天理参考館所蔵笛吹ボトルの調査とメディアコンテンツの制作」

森下 矢須之（BIZEN 中南米美術館） 「古代中南米の笛の歴史&伝統和陶器とのマリアージュ」

粟野 若枝（東海大学）ほか 「笛吹きボトルのモデルを使用した音響解析（経過報告）」

ディスカッション（司会：篠原 聡）

〈筑波大学附属視覚特別支援学校の児童による笛吹きボトル〉



〈申込 Google form〉

連絡先 東海大学松前記念館 ☎0463-58-1211 内線 2230

科研費
RAKENHI

「笛吹きボトルの構造研究と音響解析から探る古代アンデスの水に関わる世界観」(課題番号 22H04453)